

ゆうあい通信

葛城市社協だより

令和3年10月
第102号



8月6日(金)、はじかみ保育園とゆうあいデイサービスのリモート世代間交流が行われました♪
新型コロナの影響で対面の交流会が難しい中、ZOOMを使用し、スクリーンを通して歌や手遊び、おしゃべりなどを楽しみました。一方的に「見る」「聞く」だけではなく、同じ時間を共有し「つながる」ことで、お互いを思いやり共に生きる喜びを感じることができ、あらためて世代間交流の大切さを知る機会となりました。

交流会の終了後には、子ども達から「また来てねー!」「また、会おうね!」とコロナ収束後の再開を楽しみにする声会場いっぱいに響きました。

当日の様子をまとめた動画を葛城市社協のホームページ、また、かつらぎてれび「ゆめいっぱいバラエティ令和3年8月」にて公開されていますので、ぜひご覧ください。



まとめ動画



かつらぎてれび



社会福祉
法人

葛城市社会福祉協議会



SCのつばやき

(生活支援コーディネーター)



コロナに負けない「つながる」特集

昨年から続く新型コロナウイルス感染拡大の環境下では、地域活動の自粛や縮小を余儀なくされるなど、日常生活に少なからず影響を及ぼしています。また、自粛生活が長期化することにより高齢者はフレイル（虚弱）や認知症の進行など様々なリスクが高まります。

そんな中、葛城市で取り組まれている様々な工夫によるコロナに負けない「つながり」作りを紹介いたします。

傾聴ボランティアあかり：できない中で「できること」を

普段は、市内の高齢者施設やご自宅などを訪問し傾聴活動をされていますが、新型コロナの影響で直接お会いしての活動ができなくなりました。

それでもコロナ禍の中でも何かできることはないか、と話し合われた結果「メッセージカードで気持ちを届けよう！」ということになり、メンバーの皆さまが集まり、色とりどりの折り紙に手書きのメッセージを添えたとても素敵なカードを作成されました。

傾聴活動はまだ再開できない状況ですが、つながりを絶やさない素敵な活動をされています。



LINE、ZOOM を使ってつながろう♪

直接集まることが難しい中でも、お互いを気に掛け合う関係づくりや、地域での孤立を防止すること等を目的に、社会福祉協議会では昨年度にLINE活用講座を実施しました。また、今年度からは出張講座として地域でも展開しています。

また、音楽や趣味を活かした慰問活動など、交流事業・ボランティア活動のオンライン化も応援しています。

上記のLINE活用講座と合わせて、リモート（交流・ボランティア）講座も地域へ出張させていただきますので、ご興味のある方は葛城市社会福祉協議会までご相談ください。



あきらめていた活動の場ができてうれしい!



これなら私の趣味でもボランティアできるかな!

【活動者コラム】 コロナ禍に思うこと

今回、メッセージカードを持って行った時も「うれしいわあ」とものすごく喜んでくださいました。活動を通じて、お話し相手の喜ぶ顔が見られることがとてもうれしいです。

今は、コロナ禍の中で思うような活動ができないため「忍の時」でも、会って話ができなくても「活動したい」「笑顔を見たい」という灯は消したくない。

メンバー同士で今できることを話し合いながら、活動の再開ができることを心待ちにしています。

傾聴ボランティアあかり 会長 森 善男





10月1日よりスタート!

赤い羽根共同募金運動は75周年になります!

全国一斉に赤い羽根共同募金運動がはじまります。葛城市におきましても「じぶんの町を良くするしくみ」をキャッチフレーズに、多くの皆さまに参加とご協力いただき募金活動を展開いたします。

お寄せいただいた善意は、住み慣れた地域で安全に安心して暮らせるまちづくりのための資金として役立てられます。

皆さまの温かいお気持ちをお寄せいただきますようよろしくお願いいたします。

～募金活動の取り組み～

戸別募金・・・各自治会を通じて皆さまから
学校募金・・・小中学校の生徒の皆さまから
法人募金・・・企業や事業主などの皆さまから

職域募金・・・企業や事業所の従業員の皆さまから
街頭募金・・・駅前やスーパーなどで呼びかけ
募金箱設置・・・企業や公共施設などに設置

赤い羽根トピックス

■募金協力型自動販売機

「いつでも、どこでも、気軽に」社会貢献ができる取り組みとして、売上げの一部が赤い羽根共同募金への寄附となる募金協力型の自動販売機の設置を推進しています。



設置いただいている企業・団体

(順不同・敬称略)

- ・株式会社道の駅葛城
- ・HondaCars 大和奈良葛城店
- ・奈良県農業協同組合北葛地区統括部
- ・医療法人興生会吉本整形外科・外科病院
- ・医療法人誠安会介護老人保健施設ぬくもり葛城
- ・医療法人博愛会介護老人保健施設かつらぎ
- ・株式会社はしもと商店 味のかけ橋
- ・株式会社駒井製作所
- ・株式会社安川鉄工建設
- ・市役所(新庄庁舎)
- ・葛城山麓公園
- ・いきいきセンター
- ・ゆうあいステーション



赤い羽根が
目印です

■募金百貨店プロジェクト

募金百貨店プロジェクトは、共同募金会によるSDGsへの取り組みの一つであり、参加企業が「地域のためになる寄附つき商品」の登録をさせていただくことで、その売上げの一部を赤い羽根共同募金にご寄附いただくプロジェクトです。

商品を購入することで企業も購入者も日常的にSDGsへ取り組める内容となっています。

ご協力いただいている企業・団体

(順不同・敬称略)

- ・株式会社道の駅葛城 「日田天領水」
- ・株式会社三輪そうめん丸久 「そうめんバチ」



赤い羽根共同募金は皆さまの「優しさ」をいただく活動です。赤い羽根のマークがついた自動販売機や商品を見かけましたら、ぜひご協力をお願いします。

また『募金協力型自動販売機』『募金百貨店プロジェクト』にご協力いただける企業やお店を募集しております。ご協力いただける方は事務局(ゆうあいステーション内)までご連絡ください。

総務課 ☎48-3373

つながろう 手話コラム

～地域の交流を通して～



ゆうあい通信3月号では、聞こえない人の言語である「手話」のイラストを掲載していただきました。

これをきっかけに、私が参加する地域のグラウンドゴルフの仲間たちから「簡単な手話を知りたい、覚えたいなあ」と声があがり、集まれば仲間同士で少しずつですが手話を始めています。休憩の合間には、皆が木陰でおしゃべり。お花や野菜の育て方、料理や健康のことなど、お互いの情報交換とともに、日常の挨拶や名前などの身近な手話を覚えたりして、とても和やかで楽しいひと時を過ごしています。

地域の小さなグループの交流を通して、聞こえない人たちへの理解を深め、手話の輪が広がることで、誰もが暮らしやすく、手話でのコミュニケーションが当たり前の社会になることを願っています。



ボランティアグループ
葛城市手話サークル友情
聴者 S・T

法人募金のご協力

ありがとうございました

株式会社道の駅葛城様、株式会社駒井製作所様、大恵化学工業株式会社様より社会貢献の一環として、葛城市共同募金委員会へご寄附をいただきました。厚く御礼申し上げます。

お寄せいただきましたご寄附は、地域福祉の推進のために大切に使用させていただきます。



株式会社道の駅葛城様より

「なら小地域福祉活動サミット2021」



8月28日、「人がつながり、まちを元気に！」をテーマに第10回目となる標記サミットが、オンライン形式で開催されました。自宅等から受講することが難しい方に向け、ゆうあいステーションで視聴していただける会場を設け、視聴していただきました。

分科会では、大和郡山市、山添村、田原本町から発表があり、それぞれ廃園となった幼稚園を地域の居場所として活用する事例やコロナ禍でもつながる工夫、地域の困りごとに気づく活動などが紹介され、あらためてコロナに負けない地域の力を感じることができました。

コロナ禍における相談窓口

葛城市人権教育推進協議会（以下「人推協」）では、「いのち」を大切にする活動として、人推協加盟団体の皆さまのご協力を得て、食糧等の寄附を募り、支援が必要な方へ配布する「フードドライブ」事業に令和2年10月から取り組まれています。

葛城市社協でもこの事業にかかわり、寄附の受付をするとともに支援の食料等をお渡ししています。

葛城市社協では、生活福祉資金特例貸付事業をはじめ、生活の困りごとの相談など随時行っていますので、支援の必要な方はお気軽にご相談ください。

葛城市社協 ☎48-3373



ご寄附いただきありがとうございました

《令和3年6月1日～8月31日》（敬称略）

満中陰志のご寄附

・松井 俊男（竹内）

皆様のご寄附に対し、厚く御礼申し上げます。お寄せいただきましたご寄附は、地域福祉に有効活用させていただきます。



*ゆうあいステーション休館日のお知らせ（毎週月曜日、月曜日が祝日の時はその翌日）

10月／4日(月)・11日(月)・18日(月)・25日(月)

11月／1日(月)・8日(月)・15日(月)・22日(月)・29日(月)

12月／6日(月)・13日(月)・20日(月)

※年末年始の12月27日(月)～1月4日(火)は休館となります。

※新型コロナウイルスの拡大防止対策として各催しの中止や、臨時休館する場合があります。ご来館の前にお電話か社協ホームページでご確認ください